学校番号	3017

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年
校内名称	地理Ｂ			ユニット数	2.5	必選別	選択
使用教科書	「新編　詳解地理Ｂ」　（二宮書店）						
副教材等	新詳高等地図（帝国書院）、新詳地理資料COMPLETE2019（帝国書院）、 新地理要点ノート（啓隆社）、データブック･オブ･ザ･ワールド2019（二宮書店） 地理の整理と演習2020（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理を一言で言うと、「地表空間における特定地域の自然、人文の諸事情を総合的に把握し、地域的特色を明らかにしようとする学問」です。
もう少し簡単に言うと「広い地球上で、なぜ、そこにあるのか？なぜ、そこで起きているのか？」を考える学問です。「地理は暗記もの」と思っている人も多いと思いますが、実は、「ものごとが起きるしくみ」を学ぶ教科です。もちろん、対象は地表なので、地図を使うことは必須です。地図で確認しながら自分の頭の中に自分だけのマップを作ってみましょう。

2　学習の到達目標

世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断･表現	c:技能	d:知識･理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業態度 （積極的な参加、地図帳の活用度など） 映像・文献に関する感想文・レポートの提出	授業態度 （質問に対する答えなど） 定期考査 映像・文献に関する感想文・レポートの内容	授業態度 （地図帳・データブックの活用度など） 定期考査	授業態度 （授業での発言など） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点９０％程度、平常点１０％程度です。

4　学習の活動

<table>
<tr><th colspan="2">期間</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>政経</th><th>選択</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td colspan="2">前期中間考査まで</td><td rowspan="4">現代世界の系統地理的考察</td><td>■自然環境
○地形環境
○気候環境</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="2">ａ：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについての考察をもとに、単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。
ｂ：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
ｃ：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。
ｄ：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</td><td rowspan="4">授業態度
感想文･レポート
定期考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">前期期末考査まで</td><td>■資源と産業
○資源・エネルギー
○工業</td></tr>
<tr><td colspan="2">後期中間考査まで</td><td>○流通と消費
○人口</td><td rowspan="2">ａ:学習内容に関する諸事情の分布や動向などに関する考察をもとに単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。
ｂ：学習内容について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
ｃ：学習内容に関する諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。
ｄ：学習内容について系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">後期期末考査まで</td><td>現代世界と日本</td><td>○世界の中の日本
○総合演習</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>ａ：現代世界における我が国の特色や地理的課題をもとに我が国に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。
ｂ：我が国が抱える諸課題、その解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
ｃ：我が国に関する諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。</td><td>授業態度
感想文･レポート
定期考査</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　　ａ：関心・意欲・態度　　ｂ：思考・判断・表現
ｃ：技能　　ｄ：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。